

## スマートメーター導入に伴う契約アンペア容量設定の取扱いについて

平素より当社事業につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、平成27年4月より、スマートメーターを導入いたしておりますが、平成29年1月より、スマートメーターの電流制限機能を活用した契約アンペア容量設定について、下記の通り取扱うことといたしますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

### 記

#### 1. スマートメーターでの契約アンペア容量設定について

スマートメーターの一部の機種では、従来の契約用安全ブレーカー（以下、「SB」）と同様の機能（以下、「計器SB」）を有しており、平成29年1月より、スマートメーターの計器SBを活用してご契約アンペア容量の設定（以下、「計器SB設定」）<sup>※1</sup>を実施いたします。

※1 現在、スマートメーターが設置されているお客さまが契約アンペア容量の変更を希望される場合には、スマートメーターの計器SB設定を行うことから、原則としてSBを取り外し、SBの設置スペースには新たに接続器具<sup>※2</sup>の取付け<sup>※3</sup>を行います。電流制限は従来どおり、5A、10A、15A、20A、30A、40A、50A、60Aとなります。（単相2線式の場合は最大30Aまで）

※2 現在、SBが設置されている場合、接続器具は当社で用意いたします。

※3 漏電火災警報器設置箇所または電灯回路に深夜機器が接続されている場合等においては、計器SBが使用できないことから、従来どおりSBを取り付けいたします。

#### 2. 各工事における取扱い

##### (1) 新設工事・改修工事

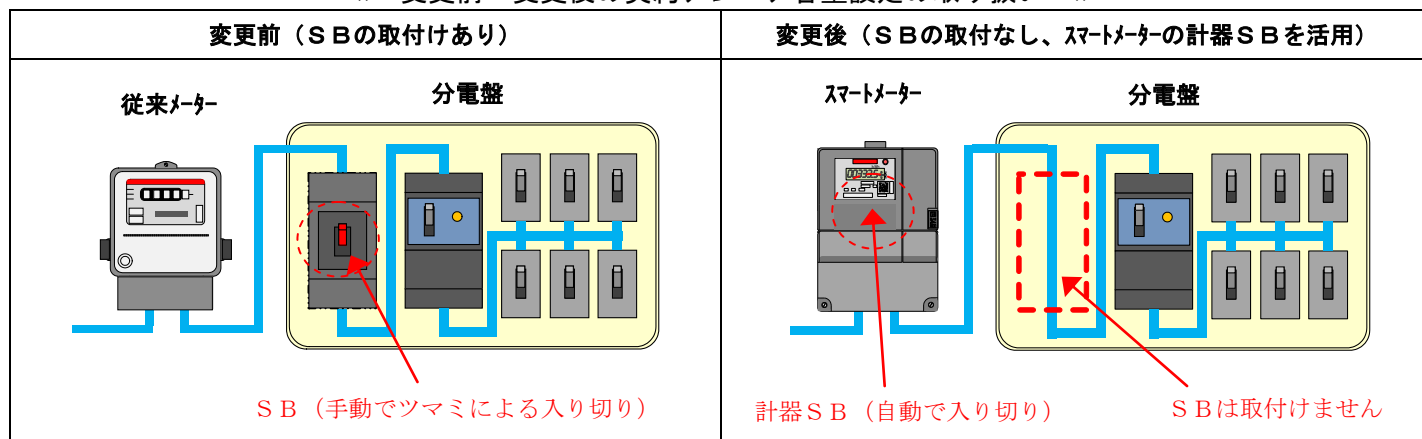
住宅の新築および改修工事等において、屋内配線工事に伴い分電盤の新設・取替を行う場合は、SB取り付けスペースが無い分電盤をご用意くださいますようお願いいたします<sup>※4</sup>。SB取り付けスペース付き分電盤を設置した場合、ロックアウト部を割らずに主開閉器へ引き込み口配線の直接接続をお願いいたします。

計器SB設定が可能なスマートメーターには38mm<sup>2</sup>以上の太さの配線は接続できませんので、新規に配線を施設する際はご注意くださいようお願いいたします。

当社は、竣工調査（現地工事検収）時に計器SBの設定を行います。

※4 上記※3に該当する場合は、従来どおりのSBを取り付けいたしますので、従来どおりSB取り付けスペース付き分電盤をご用意願います。

#### ◀ 変更前・変更後の契約アンペア容量設定の取扱い ▶



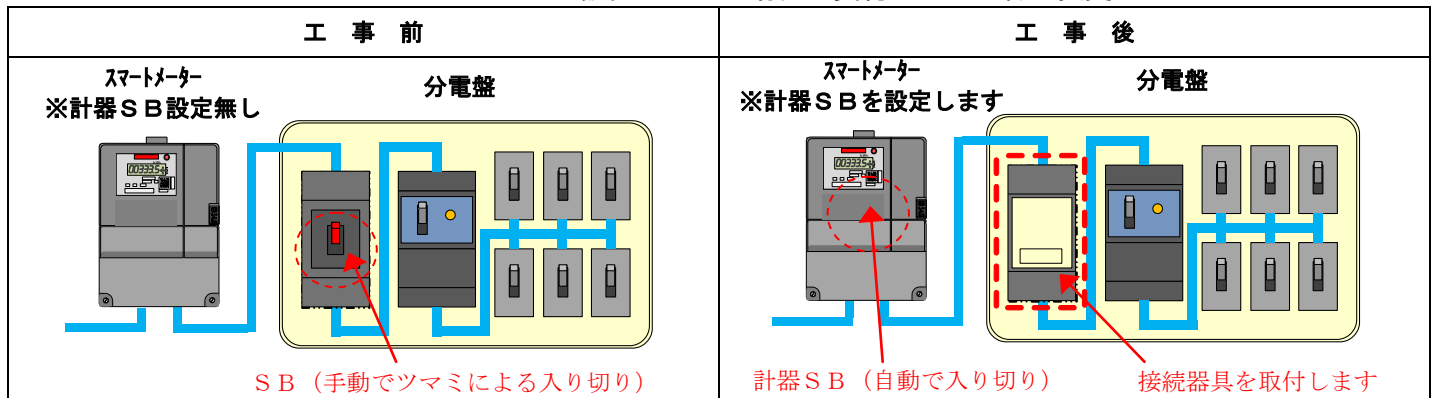
## (2) 契約アンペア容量変更

ご契約のアンペア変更を行う場合については、契約変更の際に取付けしている電力量計の種類（スマートメーターまたは従来メーター）により取扱いが異なります。

### a. スマートメーターの場合

お申込み時点でスマートメーターが設置している場合は、計器S Bの設定を行い、また、分電盤に設置しているS Bを取外し、S Bの設置スペースには新たに接続器具の取付を行います。

#### 《 スマートメーターが設置している場合の契約アンペア容量変更 》



### b. 従来メーターの場合

従来どおり、S Bの取替えを行います。

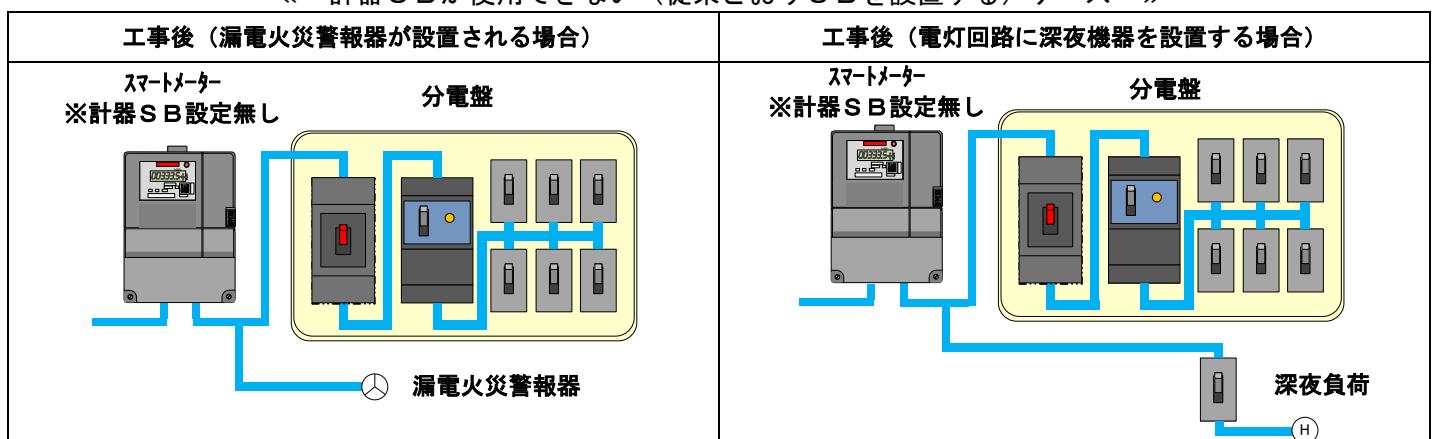
## 3. スマートメーターの計器S Bにおける留意事項

### (1) 計器S Bが使用できないケースについて

以下の場合、これまでと同様にS Bを設置します。

- ・漏電火災警報器が設置される場合（漏電火災警報器の電源が喪失する可能性があるため。）
- ・電灯回路に深夜機器を設置する場合（計器S Bで電灯分のみの電流制限ができないため。）

#### 《 計器S Bが使用できない（従来どおりS Bを設置する）ケース 》



### (2) 遮断動作、自動投入について

計器S Bの設定をした場合、負荷電流が設定された値を一定時間超過すると、スマートメーターの内蔵開閉器が遮断動作し停電します。遮断動作後、15秒程度で内蔵開閉器が自動投入（自動復帰）し、通電が開始されますが、短時間に複数回連続して遮断動作が発生した場合には、自動投入（自動復帰）を行わず停電状態が継続するため、当社へのご連絡が必要となります。